

令和元年度通常総会の報告！

令和元年5月15日、高鷲文化財保護協会の新年度はじめての総会が、角 学 高鷲振興事務所課長を迎え、町民センター研修室で行われた。出席者は19名で、総会は、会長の挨拶から始まり、次いで角 課長からご祝辞を賜り、協議題に入った。
協議事項は下記のとおりです。

(1) 平成30年度事業報告、決算報告・・・原案通り可決 事業報告

- ・役員会：4/10、4/17、8/24、10/19、11/23、2/22、3/15
- ・総会(33名参加、町民センター)：5/16
- ・奉仕作業(開拓記念館清掃)：6/27、12/5、3/29
- ・奉仕作業(糸姫の柵、お祓いの土地、9名参加)：5/30
- ・町内ミニ研修(折立、往明寺、参加者30名)：5/30、9/1
- ・ギフチョウ保護巡回(観光協会ひるがの支部と協力)：5・18～6・14
- ・開拓記念館案内：9/28
- ・NHLKプロデューサー講演「地図にない国」：9/28 参加者100人
- ・市主催：県外研修：10/5
- ・市内文化財巡り：高鷲地区：開拓記念館・山川記念館・喜四郎の墓、参加者50名 10/13
- ・会報「高鷲の文化財」発行：第29～31号
- ・標柱立て替え：11/13
- ・宿泊県外研修：(大阪方面)中止
- ・文化講座(講師：長尾 幹 氏、「三白産業」)：参加者50名、3/23

決算報告

収入：181,325円

支出：175,696円

残高：5,629円(31年度繰り越し) 監事より監査報告。

(2) 令和元年度事業計画及び予算案・・・原案通り可決 事業計画

- ・役員会：4/17、6～2月の第4金曜日執行部会、3/〇
- ・総会・総会講演会：5/15
- ・ギフチョウ保護巡回：5/17～6/6
- ・奉仕作業(糸姫の柵・お祓いの柵整備作業)：5/29(9:00～)
- ・県外宿泊研修(京都方面)：6/25～6/26
- ・市内文化財巡り：10/ (～)
- ・開拓記念館民具の清掃作業：6月、11月、3月
- ・高鷲文化財講座：8/10 馬淵旻修、8/3 鷲見尚武、8/24 水上精栄、8/31 山川清氏
いずれも町民センター 19:00 から 20:00)
- ・大鷲白山神社懸仏特別公開：10月町民祭時

(3) 予算・・・原案通り可決

収入：161,629円

支出：161,629円

(4) たかす開拓記念館で企画展「高鷲の小学校100年展」を計画実施する。

(5) 町内ミニ研修；5月29日の奉仕作業と並行して行う。

(6) その他：

総会終了後、「高鷲町の年表」について馬淵会長から講話を頂いた。

年	月日	できごと
前約6000	縄文	高鷲地内で人が暮らしはじめる（石器や炉跡の発見）
715	霊亀元	泰澄が大日岳登頂 大日如来をまつる
855	斉衡2	武儀郡から郡上郡が分けられる
931	承平元	鮎走・切立・正ヶ洞・向鷲見・中切・穴洞・鷲見・西洞の8ヶ村となる
1160	永暦元	鷲見頼保が村へ来て向鷲見神社へ社領を寄進する（鷲狩り伝説）
1252	建長4	鷲見家保向鷲見城を築く（鷲見大鑑）
1754	宝暦4	宝暦騒動がおこる 切立村喜四郎・向鷲見村弥十郎・五郎作などが参加
1860	万延元	村内各地で新田開発が盛んに行われる
1871	明治4	1月 廃藩置県により鷲見8ヶ村は郡上県の管轄に入る
1875	明治8	第1回町村合併 鮎走・切立⇒鮎立村／ 向鷲見・穴洞・鷲見中切・正ヶ洞⇒大鷲村 鷲見西洞・鷲見⇒鷲見村（3ヶ村合計人口4,029人、戸数741戸）
1882	明治15	鷲見村が鷲見村と西洞村に再び分かれ4ヶ村となる
1897	明治30	町村制実施 大鷲村・鮎立村・鷲見村・西洞村の4ヶ村を合併し、高鷲村と命名する （人口4,813人、戸数812戸、面積6,420町歩）
1901	明治34	4月15日 北海道開拓のため25戸移住（その後断続的に移住）
1916	大正5	村にスキーが初めてはいる
1940	昭和15	満州分村計画により移民先遣隊が出発 蛭ヶ野開拓はじまる
1941	昭和16	紀元2600年記念事業として桑ヶ洞村有林に10町歩の植林を行う
1945	昭和20	太平洋戦争終結（村内の戦死者171人 琿春高鷲開拓団員引揚げ353人） 高鷲村総合開拓団発足 不在地主等の耕地及び未墾地の買収始まる
1946	昭和21	蛭ヶ野・上野・切立の大規模開拓入植事業始まる
1956	昭和31	牛乳初出荷
1959	昭和34	蛭ヶ野高層湿原植物群落が県の文化財指定を受ける 自衛隊演習場問題起こる（昭和42年に終結） 伊勢湾台風直撃により全村で被害
1961	昭和36	奥美濃地震発生 3年連続の災害により、被災家屋237戸
1962	昭和37	ひるがの高原一帯の開発の動きが始まる
1964	昭和39	ひるがの高原スキー場オープン
1966	昭和41	観光事業が活発となる
1968	昭和43	村制施行80周年並びに明治100年記念祭 大根の栽培が盛んになる
1979	昭和54	高鷲村総合営農協議会が農林水産大臣賞を受賞 高冷地野菜生産出荷組合が天皇杯を受賞
1981	昭和56	56豪雪（大鷲345cm ひるがの410cm） （山林被害3億7千万円 除雪費6500万円 自衛隊救援により公共施設の除雪）
1983	昭和58	来村観光客117万人 村内消費額50億円を超える
1985	昭和60	夏大根販売額15億円突破 第7回全国分水嶺サミット 長良川水と健康サミット開催
1996	平成8	東海北陸自動車道村内全線工事着工
1997	平成9	村制100周年記念行事開催 木曾馬と500キロの旅東京キャラバン、村勢ビデオ製作を実施
2003	平成15	7月8日 郡上郡7町村長ら参加のもと郡上町村会館で合併調印式開催
2004	平成16	2月13日 閉村記念式典が催される 3月1日 郡上市発足 高鷲村は郡上市高鷲町に

16時00分に閉会した。

市天然記念物「糸姫の栃」・「お祓いの栃」 清掃奉仕作業 5/29, 9:00～ 銀嶺荘前集合

令和元年度高鷲文化財保護協会 県外宿泊研修は京都苔寺です。